

2025年4月25日
NPO 法人 LAND FES

多世代インテグレイテッドダンス作品『UNUM』世界初演！

INTRODANS × LAND FES × 貞松・浜田バレエ団
オランダと日本の国際共同制作ツアー開催



2025年5月、大阪・関西万博のオランダ王国の公式プログラムのひとつとして、オランダと日本の国際共同制作ダンス作品『UNUM』が世界初演を迎えます。大阪・関西万博を皮切りに、神戸、京都の3都市でツアー公演を開催いたします。

本リリースでは、新作『UNUM』の見どころや開催地ごとのプログラムの特色をお届けします。

- 大阪・関西万博公演 5月21日（水） EXPO ナショナルデーホール
- 神戸公演 5月24日（土）～5月25日（日） 神戸文化ホール 中ホール
- 京都公演 5月27日（火） ロームシアター京都 ノースホール

本件に関するお問い合わせ

NPO 法人 LAND FES（担当：呉宮） kuremiya@landfes.com / 090-4430-7394

Instagram : [@landfestokyo](#) | X (旧 Twitter) : [@LANDFES](#) | Facebook : [@landfes](#)

1 | 『UNUM』とは

ラテン語で「ひとつ」を意味する『UNUM (ウヌム)』は、国籍・世代・身体の違いを超えて共に創り上げるインテグレイテッドダンス作品です。オランダと日本のダンサーたちが、血の繋がった親や子と共に舞台上に立ち、記憶と感情を紡ぎながら、共にあることの可能性を探ります。

振付は、インクルーシブな創作の第一線で活動するエイドリアン・ルティン (INTRODANS) と松岡大 (LAND FES)。それぞれの国で多様な背景をもつ人々と創作を続けてきた二人が、プロフェッショナルとその家族による“ひとつ”のステージを立ち上げます。

★インテグレイテッドダンスとは：障がいの有無に関係なく、多様な身体性を活かし、新たな価値を創造するダンス。偏見を無くし、エンパワーメントをもたらす表現方法としても、世界的に注目を集めています。



『UNUM』リハーサルより

実の“親と子”が舞台上で再会

本作では、異なる身体的特性をもつダンサーと、その血の繋がった家族——親または子が共演します。家族としての記憶を分かち持ちながらも、それぞれが独立した個人として舞台上で改めて出会い、触れ合い、新たな関係を結び直していく。言葉を越えた時間のなかで、“つながり”が静かに問い直されます。

多様な背景を持つ身体が“ひとつ”になる瞬間

オランダ、カナダ、日本各地から 12 名の出演者が集います。国境も世代も超えて多様な身体が混ざり合い、互いを尊重しながら共に踊る姿は、“異なる他者と共に在ること”の可能性を観客の目の前に立ち上げます。

“共にある”ことから、新たな価値が生まれていく

本作の創作には、日本とオランダのクリエイターが横断的に参加しています。文化や身体、視点の異なる者どうしが、丁寧な対話を重ねてひとつの舞台を共に作り上げる。そのプロセス自体が、大阪・関西万博でオランダ館が掲げる『コモングラウンド』——“共に分かち合い、新しい価値を生み出す”というビジョンとも響き合っています。

2 | 継続的な国際コラボレーションの結晶 —— 『UNUM』と『lungo』

神戸・京都で同時上演される『lungo (ユンゴ)』は、障がい者やホームレス経験者など多様なバックグラウンドを持つ 8 名のダンサーと、振付家エイドリアン・ルティンの出会いから生まれた作品です。INTRODANS と LAND FES の初の共同制作作品として 2024 年 1 月に東京で初演された本作を、『UNUM』とあわせて上演することで、共創の歩みを立体的にお届けします。

⇒ [『lungo』 トレーラー](#)



『lungo - Encounter Tokyo』 photo by Masabumi Kimura

3 | 開催地ごとの特色あるプログラム

- **大阪公演** 大阪・関西万博のオランダ王国公式プログラムとして『UNUM』世界初演
- **神戸公演** INTRODANS と 貞松・浜田バレエ団のレパトリー作品を同時上演
- **京都公演** 新作『UNUM』『lungo』2 本立て+特別ワークショップを開催

★ 京都では舞台作品と創作プロセスの両方を体験！

2 作品の同時上演に加え、振付家エイドリアン・ルティンによる特別ワークショップを実施。

欧州で長年に渡り、多様な人々と共にダンスを創る活動に取り組んできた振付家の創作手法を、是非この機会にご体験ください。(ダンス経験・障がいの有無を問わず、どなたでもご参加いただけます)



4 | 公演概要

大阪・関西万博公演 —— 『UNUM』

[日程] 2025年5月21日(水) 18:00

[会場] EXPO ナショナルデーホール

[詳細] <https://unum.osaka/expo2025/>

神戸公演 —— 『UNUM』『Iungo』『6 Dances』『Takademe』『Cantata』

オムニバス公演

[日程] 2025年5月24日(土) 18:30

[会場] 神戸文化ホール 中ホール

[詳細] <https://unum.osaka/kobe/>

アクセシビリティ公演

[日程] 2025年5月25日(日) 16:00

[会場] 神戸文化ホール 中ホール

[詳細] <https://unum.osaka/kobe/>

★アクセシビリティ公演：障がいのある方にもより身近に作品をお楽しみいただけるよう、ステージ・オン・ステージの仕様に特別アレンジして上演。視覚・聴覚・車椅子の鑑賞サポートも実施します。(上演作品は『UNUM』『Iungo』のみ)

京都公演 —— 『UNUM』『Iungo』

[日程] 2025年5月27日(火) 19:30

[会場] ロームシアター京都 ノースホール

[詳細] <https://unum.osaka/kyoto/>

特別開催 | エイドリアン・ルテインによるダンスワークショップ

[日程] 2025年5月28日(水) 19:00~20:30

[会場] ロームシアター京都 ノースホール

主催：NPO 法人 LAND FES、(一社) 貞松・浜田バレエ団、イントロダンス、オランダ王国大使館

神戸公演 共催：神戸文化ホール(指定管理者：(公財) 神戸市民文化振興財団)

京都公演 共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

助成：日本万国博覧会記念基金、

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(国際芸術交流)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。
Towards a brighter future for all

5 | 上演作品詳細

■ 『UNUM』

演出・振付：エイドリアン・ルテイン、松岡 大

ドラマトゥルク：呉宮百合香

音楽：武田直之

出演：Angelica Villalon (Introdans)、Reynaldo Villalon、Mark van Drunick (Introdans)、Anne van Drunick、かんばらけんた、かんばらしおり、後藤俊星（貞松・浜田バレエ団）、後藤りさ、森田かずよ、森田登代子、山本小海（貞松・浜田バレエ団）、山本直樹

■ 『lungo』

演出・振付：エイドリアン・ルテイン

出演：泉葉子、片山夏波、川合ロン、小磯松美、小暮香帆、坂田尚也、野村雅弘、森田かずよ

■ 『6 Dances』 （貞松・浜田バレエ団レパートリー作品） *5月24日のみ上演

振付：Jiri Kylian

出演：貞松・浜田バレエ団（*は順団員）

切通理夢、後藤俊星、小森慶介、シャンティ紀奈、大門 智、名村 空、水速飛鳥、宮本 萌、高橋 涼、松原光里、武藤天華、高瀬幸太郎*、片桐優宇（バレエ学園）、本田翔悟（マユティンクバレエ）

■ 『Takademe』 （INTRODANS レパートリー作品） *5月24日のみ上演

振付：Robert Battle

出演：Mark van Drunick (Introdans)

■ 『Cantata』 （INTRODANS レパートリー作品） *5月24日のみ上演

振付：Mauro Bigonzetti

出演：Angelica Villalon (Introdans)

※ 演目、ダンサー、スタッフはやむを得ない事情により変更が生じる可能性があります。

スタッフ

舞台監督：川上大二郎 | 照明：吉田一弥 | 音響：林 実菜

衣装：喜多理恵 | 映像：追立大地、福岡 想 | 舞台美術デザイナー：川上大二郎

制作：NPO 法人 LAND FES、(一社) 貞松・浜田バレエ団

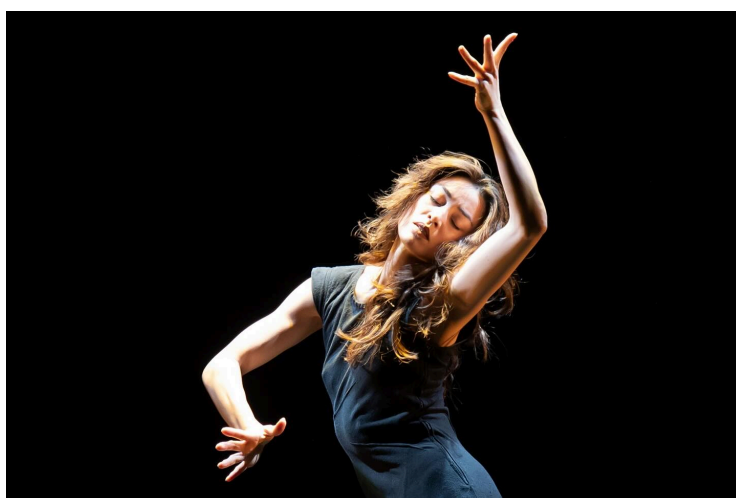
制作（アクセシビリティ公演アドバイザー）：三田宏美 | 宣伝美術：角谷 慶 (Su-) | 協力：苫野美亜



『6 Dances』 photo by 古都栄二 (テス大阪)



『Takademe』 EoS24 ©Introdans Filibert Kraxner



『Cantata』 SPRING ©Introdans Hans Gerritsen

6 | アーティストプロフィール

エイドリアン・ルテイン Adriaan Luteijn

INTRODANS 振付家、INTRODANS Education アーティスティック・マネージャー。1998年にダンサーとしてのキャリアを終えた後、オランダ国内外のカンパニーに振付作品を提供している。イントロダンスの教育部門を統括し、若者や障がい者、高齢者と共に創作を行う「イントロダンス・インタラクティブ」など、インクルーシブダンスの実践に長年取り組む。すべての作品に通底するのは、人間のつながりと多様性への眼差し。異なる背景を持つダンサー同士の対話や摩擦が、創作の原動力となっている。2018年、オランダ王室よりオレンジ・ナッソー勲章を受章。

松岡 大 Dai Matsuoka

舞踏家、NPO 法人 LAND FES 代表。2005年より山海塾に舞踏手として参加し、「金柑少年」「卵熱」「とぼり」「TOTEM」など国内外の舞台に出演。2011年からはLAND FESを主宰し、ダンスを通じて共生社会を目指す活動を展開。2018年より「スクランブル・ダンスプロジェクト」を立ち上げ、障がいの有無を超えた共創の場づくりに取り組む。海外のアーティストとの協働も多く、Phantom Limb Company『Falling Out』や Paola Prestini『Houses of Zodiac』への出演、Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13「Tokyo Real Underground」のキュレーションなど、国内外で活動の幅を広げている。

イントロダンス INTRODANS <https://introdans.nl/>

イントロダンスは、1971年にトン・ウィッガーズによって設立された。オランダを代表する3大ダンスカンパニーの一つとして知られている。多くの人に親しまれているバレエのレパトリーから、先鋭の振付家によるコンテンポラリーダンスダンス、障がい者や高齢者の関わるインクルーシブダンスまで、幅広い作品で国内外の観客を魅了している。

NPO 法人 LAND FES <https://landfes.com/>

2011年に設立。障がいの有無を越えて共にダンスを創る「スクランブル・ダンスプロジェクト」や海外のインクルーシブダンスを紹介する「TOKYO ACCESSIBLE DANCE」など、パフォーマンスアートを通して共生社会を推進する活動を展開している。

(一社) 貞松・浜田バレエ団 <https://sadamatsu-hamada.fem.jp/>

1965年3月、貞松融を団長、浜田蓉子を副団長に兵庫県神戸市で創設。創設当初より、クラシックバレエを基本に、古典バレエと現代作品を活動の両輪に公演活動を行う。バレエの普及活動にも力を入れ、学校公演は700回を超える。子供から大人まで幅広くバレエを楽しめるプログラムを上演する。文化庁芸術祭大賞、神戸市政功労者表彰など数々の賞を受賞。

本件に関するお問い合わせ

NPO 法人 LAND FES (担当：呉宮) kuremiya@landfes.com / 090-4430-7394